大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　八月三十日

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用(3)三二二五　營業局專用(3)三二〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介

改悛の事實あるまで責任追及の手を緩めず

川越大使、喜多佐藤兩武官と會合

成都事件の善後策協議

【上海廿九日發國通】川越大使、喜多、佐藤陸海軍武官は廿九日午後三時半大使官邸に會合、成都事件善後處理に關する重要協議を遂げた結果、出先官憲が一丸となり斷乎南京政府の責任を追及し、僞裝親日の假面を剝いで根本的解決に向つて邁進するに決定した、仄聞するに重要諸點は左の如くである

一、成都事件のみならず、最近頻發する日本人迫害事件は盡く國民政府並に黨部の民衆煽動に根源するは極めて明瞭な事實なるを以て、國民政府に事件解決の全責任を負はしめる事、從つてこの種事件の再發を防止するには國民政府の二重外交政策を根本的に是正せしめ、全面的に排日を根絶せしめること

一、國民政府が如何に口頭禮を以て事態を糊塗せんとしても、我方としては國民政府改悛の具体的事實が如實に表明されるまで斷乎として責任追及の手を緩めざる事

一、今回の事件の解決並に善後措置に關する國民政府の誠意披瀝を注視する事

明かに計畫的抗日テロ

陸海軍當局も獨自の立場から調査

渡、中津兩中佐成都に向ふ

【上海卅日發國通】成都事件の重大性に鑑み我陸軍參謀本部並に海軍々令部では夫々漢口駐在陸軍武官渡中佐、同海軍武官中津中佐を現地に派し事件突發の直接動機、遠因、事件關係者の背後關係及び中國側の善後處置等に就き詳細調査を行はしめる事となつた

此重要訓令に接した兩中佐は異常な決意を持ち卅一日飛行機で漢口より成都に飛ぶ事になつた、調査結果報告の如何に依つては陸海軍兩當局も事件の具體的解決に最後の肚を極める事となるべく外務省松村書記官の眞相調査と併行して行はれる軍當局者の活動は中國在留全邦人の最も期待するところとなつて居る

畏き邊りより金一封御下賜

【東京國通】畏き邊りでは朝鮮總督府管内に於て七月中旬頃より八月中旬に亙つて再々の豪雨あり被害尠なからざる趣を聞召され御軫恤の畏き思召を以て天皇、皇后兩陛下より罹災民に對し御内帑金金一封御下賜の御沙汰あり松平宮相は廿九日午後六時電報を以て朝鮮總督へ傳達した

視察團が見た支那側不誠意の數々

【上海廿九日發國通】今回の成都事件に視察に赴いた我々は現地に於て支那側の不誠意を至る處に示された、即ち

一、我々が成都に到着する際支那側からは劉省主席代表劉公安局長及び市政府要人七、八人來たが何等不祥事件を口にせず遺憾の意を示さず

一、我々の電報や飛行便を總て省政府に持參檢閲の後に[illegible]

一、我々四人を保護の名目の下に省政府に宿泊させ以て輕く監禁をなす

一、被害者に直接面接面會させず

現地視察團一行兩氏の遺骸を弔ふ

【上海廿九日發國通】成都に急行した一行は直ちに渡邊、深川兩氏の遺骸を弔ひ終つて習鄰公署内の病院に瀬戸、田中兩氏を訪へば兩氏とも比較的元氣で我々が入るや喜びに面を輝かし乍ら興奮の面持ちで遭難當時の模樣を語つたが瀬戸氏は左顎部右耳及び左手首をひどく打たれ外は割合に淺く記憶力も良好で頭の繃帶は痛々しかつたが元氣だつた

田中氏は右耳の打撲傷が案外重く熱もあつてベッドに寢た儘だつた、瀬戸氏は二、三日經てば漢口に歸る心算だと云つてゐた、然も上海に歸りたがつてゐたが中耳炎になる虞れがあるので醫師の勸告で來月初め迄靜養の筈である

竹田宮殿下けさ御離京遊ばさる

十九日御來京以來關東軍附として滿洲の特殊な軍務に日夜御精勵遊ばされてゐた竹田宮恒德王殿下には三十日午前八時飛行機で御離京遊ばされた、此の日殿下には安藤御附武官、御倉宮內事務官を隨へさせられ午前七時四十五分頃御宿所御出門沿道に堵列せる在鄉軍人、日滿各學校生徒兒童、國防婦人會各種團體の御奉送をうけさせられ飛行場に御着、飛行場事務所に御少憩のうへ德留管區長の御先導にて場內に整列御奉送申上げる植田關東軍司令官以下文武高官、民間代表、滿洲國特任官等に御會釋を賜ひつゝ滿航旅客機M—一四九號に御搭乘、午前八時御搭乘機は爆音勇ましく離陸紺碧に晴れ渡つた初秋の空を一路御離京遊ばされた【寫眞、飛行機に御搭乘の竹田宮殿下】

臺灣總督に小林躋造大將に決定

【東京國通】臺灣總督の更迭に關し永田拓相は廿九日午後一時小林躋造大將を招き中川總督の後任として臺灣總督に就任方を交渉した結果小林大將は之を受諾し、直ちに海軍省に永野海相を訪問諒解を求めた結果正式に承諾した旨政府に通告したので廣田首相は參內上奏御裁可を仰いで左の如く來る二日發令される事となつた

海軍大將從二位勳一等功五級　小林躋造
任臺灣總督
臺灣總督　中川健藏
依願免本官

新任總督語る

【東京國通】臺灣總督に決定した小林大將は廿九日夜左の如く語つた

軍人出身の者が總督になつたからと云つて外國がそれ程神經過敏になるものか、濠洲聯邦だつてニュージーランドだつて武官總督だしビルマや蘭領印度だつて今は知らぬが元は武官總督がやつて居た、カナダ等は異民族統治ではないのに武官總督がやつて居る、こんな具合に武官總督は世界各地に隨分澤山ある、支那だつて豫備の海軍、軍人を引張り出したからといつても、傍から氣にやむ事はないと思ふがね、統治方針は今から豐富な經綸はありはせんよ、多言不實行は軍人には最も禁物だから兎も角責任ある現在の當局者から充分話を聞いた上の事でなくては滅多な事は言へぬ只今日の擧國一致力を合せて國力を充實して國運の飛躍に資する事は日本人の考へる處だ

總務長官も近く更迭

【東京國通】政府は臺灣總督の更迭と同時に總務長官の更迭をも行ふことに決し、その銓衡を急いで居るが、新總督との從來の關係その他より見て、佐上前北海道長官が最も有力視されて居る

遭難兩氏遺骨上海へ二日歸還

【成都卅日發國通】渡邊、深川兩氏の遺骸は廿八日日本側立會ひの下に茶毘に附した尚來月二日の飛行機で上海に歸る豫定である

武藤第二課長大橋參謀歸京

北支出張中の武藤第二課長、大橋參謀は廿九日午後五時板垣參謀長に從ひ歸京した

青木次長卅日夜來京

滿洲、北支視察の青木對滿事務局次長は卅日午後七時四十五分着ハトで來京、直ちにヤマトホテルに投宿の筈

後手に縛り上げられ滅茶苦茶に毆らる

田中、瀬戸兩氏の遭難現況談

【上海廿九日發國通】同盟通信社の漢口特派員岡本房男氏は廿七日糟谷領事等と共に飛行機にて成都に飛び廿九日午後七時上海に歸來したが、酸鼻を極めた遭難の狀況に就き次の如く語る

廿八日午後私は松村書記官糟谷領事等と共に死體の收容されてある養生學堂に檢視に向つた、養生學堂は寺小屋式の汚い建物で中に入つて右側三間間口位ひの部屋の右側に大きな棺桶に納められた渡邊、深川兩君の遺骸が安置してあつたその傍に汚い棺が二個置いてあつたが同行せる公安局長の話に依れば右は今回の事件の下手人で銃殺の刑に處したものであるとの事であつたが、態々犯人の死體を傍に置いて二人殺したから吾々も二人處刑に處した、之で差引き五分々々ではないか、と言ふ樣な支那側の見え透いた肚が讀める樣な氣がして憎々しい限りであつた、吾々が戸口に達した時既に死體から發散するムツとした異臭が鼻についたが、棺の蓋をとり之をのぞき込んだ時吾々はあまりの殘虐さに思はず眼を掩はずには居られなかつた

渡邊氏の如きは眼球は飛び出し下顎部は一面にぐぢやぐぢやに叩き潰され殆ど原形を止めてゐない、兩氏共全身は無數の打撲傷のため眞黒にふくれ上り兩氏を熟知する同行の田知花大每、中村大朝兩支局員にも判りきりした見分けは出來兼ねる程であつた、尚瀬戸君は右額及び右耳にひどい打撲傷を受けてゐるが熱も下り比較的元氣であつた

尚負傷した田中武夫君は左の如く語つた

我々の居た三階の大廣間に暴民がなだれ込むや忽ち數ヶ所を棍棒で毆られ又時計その他身ぐるみ剝ぎ取られて素裸にされ後手に縛り上げられた儘[illegible]引ずり降されたが街に引きずり出された迄は記憶にあるが滅茶苦茶に毆られたので氣を失ひ後は判らず氣がつくと後手に縛られた儘人の居ない所に裸で投げ出されてゐた、其處を公安局員に救はれて辛うじてその儘公安局に收容され危ぶなく助かつた譯です

又瀬戸尚氏は病床で昂奮しながら語る

廿四日午後五時頃千人ばかりの支那暴民が押し寄せて來て階下の器物その他を壞してゐたが、刻々その數を增し六時頃から數千人になつて喊聲を擧げて部屋に亂入して來た、そこで我々は領護照を提示して「私等は領事館とは全然關係なく遊びに來たのであり若し居て惡ければ明日退去する」と言つたが聞き入れず押問答をするうち突然暴民中の一人が棍棒を持つて私に毆りかゝつたのを合圖に數十人が全部毆りかゝり部屋は忽ち混亂、田中、深川兩氏の悲鳴を聞いたが後は判らず無我無中で頭を打たれぬやうに背中を丸めて行手の奴を左右に突き飛ばし乍ら飛び出し出來るだけ明るい方を目掛けて逃げたがその際頭を毆られ着物は剝ぎ取られ遂に素裸にされた儘約廿分ぐらい無中で逃げたら衛兵處らしい處があつたので素裸の儘逃げ込んだ、處長は直ぐに隱してくれたが外の三名は皆目判らず心配した

大川旅館の慘狀

主人は暴徒に虐殺された上宿は破壞掠奪さる

【上海廿九日發國通】暴行現場視察のため大川旅館を訪れるに一階二階の凡有る部屋は滅茶苦茶にされて宿の面影なく三階の慘殺現場は器物、什器は跡形もなく破壞掠奪され床壁には當時の格鬪をしのばせる血痕が黒くにじみ目を掩はせるものがあつた、又階下の旅館主人部屋にも血痕附着してゐたが、之は當主人が日本人を宿泊せしめた廉を以て暴民のため遂に慘殺されたものだと語つてゐた、更に深川渡邊兩氏の最後の場所を確めるべく街上に出たが、暗い街に雨さへ降り、戒嚴令下に巡警が物々しい警戒をなしつゝあるのみで無氣味に靜まり返つた街に遺痕の血を搜すよすがもなかつた

松村書記官等の發信中國側に押へらる

【上海廿九日發國通】廿八日午後成都に到着した松村書記官からは其後大使館へ何等の公電もなく、廿九日午後迄待ちわびて居た大使館では愈よ同書記官からの發信が全部成都の中國側官憲の手で押へられてゐるものと斷定し、事件そのものに對する中國側當局の不正極まる處置と同樣、あまりにも我方の正當なる權利を無視するものとして近く嚴重なる抗議を爲すこととなつた、松村書記官の上海出發前大使館との事務打合せにだいて成都到着の上は直ちに到着したとの電報を發する事になつて居り、廿七日朝龍華飛行場を發つ際も見送りの須磨南京總領事から重ねて念を押された程で、成都着後も事件調査に關して刻々電報を發して居る筈であるが、廿九日午後に至るも一通の電報にも接せぬのは國民政府の御用通信社たる中央社が成都より逸早く松村書記官到着の通信をなして居るのと思ひ合せて、同他の中國側官憲が不法にも之等の電報全部を押へて居る事明かで、何故の妨害か我が當局の諒解に苦しむ所となつてゐる、松村書記官より一足先に廿八日午前六時半龍華飛行場發中國航空公司ユンケル十八號機で一氣に成都へ向つた中村大朝特派員並に松村書記官と同乘、故渡邊特派員の死體引取りに急行した田知花大每支局長からも大朝、大每兩支局とも未だ何等の通知に接せず、之等も松村書記官の場合と同樣中國側に押へられてゐるものと見られて居る

北海、號浦の要衝廣西軍の手に落つ！

中央軍陽春方面に撤退開始

【廣東廿九日發國通】廣州（佛領）よりの來電によれば粵南の要衝北海、號浦は廿六日完全に廣西軍の手に落ち同地駐防の中央軍二個團（福建軍）は武裝解除され、又茂名の中央軍は廿七日來陽春、陽江方面に撤退を開始し兩地は今明日中に廣西軍の手に歸するものと見られて[illegible]

石氏は更に廿八日第四路軍麾下の第一五三師、四五師の三個師を陽春、陽江方面に救援せしめた

廣西軍の新編成

【廣東廿九日發國通】南寧來電[illegible]即ち第一路軍は東北部作戰、第二路軍は南部作戰に當り各路軍の下に三個縱隊を置き擔當者は左の如く決定した

▲第一路軍總指揮白崇禧
▲第一縱隊司令廖磊
[illegible]

ス革命軍政府

革命完成後の經綸を發表す

【ブルゴス廿八日發國通】ブルゴス革命軍政府は廿八日早くも革命完成後の經綸を左の通り發表したが、革命完成後君主制樹立の可否を人民投票に問ふ旨を言明した點は特に重視されて居る

發表要旨

革命政府はスペインの政權を完全に確保すると同時に先づ暫定措置として獨裁制を樹立し會議の解散並に全左翼團體の解散を斷行し、ついでスペインの君主制復活の可否を人民投票に問ふ事となろう、更に外に對しては特に獨伊兩國と親善協調を維持する、革命完成の上はカタロニヤ自治制を廢止しこれをアラゴン州の一部とする方針である

人事往來

▲青木對滿事務局次長　三十日午後七時四十五分着京豫定
▲小見山少將（新京警備司令官）同午前九時十分ハルビンへ
▲青木大佐　同
▲小山健一氏（農業）三十日午前奉天へ
▲福渡一雄氏（商業）同大連へ
▲柿沼實氏（會社員）同來京國都ホテル
▲熊谷恭治氏（建築業）同
▲岡本健一氏（商業）二十九日午後大連へ
▲丸川順助氏（協和會）同市内へ
▲加藤一郎氏（電業公司）同奉天へ
▲眞鍋宣恒氏（日本電業社員）同
▲高橋孝一氏（大連汽船）同大連へ
▲黒岩浩一氏（遞信省官吏）同奉天へ
▲石丸英一氏（海運業）同ハルビンへ
▲中尾宗太郎氏（滿洲國官吏）同來京國都ホテル
▲桑原榮男氏（細川組）同
▲肥出耕三氏（大倉組）同
▲鷲谷一勳氏（九大教授）同
▲黒田修三氏（滿鐵）同
▲永井彰一郎氏（東大教授）同
▲橋本太郎氏（會社員）同
▲井上慶之助氏（帝國地方行政學會）同
▲野田龍之助氏（同）同
▲大庭公平氏（同）同
▲寺田健一氏（千野製作所）同
▲石川睦夫氏（滿洲國官吏）同
▲高畠護輔氏（特產商）同雙葉ホテル
▲田中佐一氏（同）同
▲野口芳實氏（鞍山製鋼所員）同
▲佐藤中是氏（鐵路局員）同
▲鳥海銳磨氏（滿鐵）同梅屋旅館
▲永田駒吉氏（建築業）同大和旅館
▲柏木好氏（福昌公司）同
▲秋山治郎氏（軍屬）同新京ホテル
▲伊藤直人氏（航空社員）同
▲苅谷正治郎氏（滿鐵）同都ホテル
▲馬場秀夫氏（新聞社）同向陽ホテル
▲牛木寛三郎氏（會社員）同
▲窪内石太郎氏（鑛業）同
▲中田松雄氏（滿鐵）同富士屋旅館
▲高橋隆氏（東亞勸業）同
▲春井堅氏（日立製作所）同
▲額田照雄氏（鐵路局員）同
▲谷口素絲氏（建築業）同國際ホテル
▲森友直氏（滿鐵）同
▲西村實造氏（鐵路局員）同
▲村瀬政之助氏（滿鐵）同
▲齋藤光雄氏（鐵路局）同
▲藤田勝次郎氏（同）同

團體

▲新京銀行團員二十九名　三十日午前七時二十分吉林へ
▲滿洲國外交部員團四十六名　同午後七時十分歸京
▲滿洲電業公司婦人部員團四十名　同午前九時三十分公主嶺へ、同午後六時四十分歸京
▲大同學院生五名　同午後七時十分吉林より歸京
▲大連驛、沙河口驛、T・B主催第二回哈市見學團二十名　同午前八時五十分來京、同午後四時ハルビンへ
▲南滿瓦斯會社奉天支店社員十二名　同午前七時來京

その日く

□成都の邦人虐殺事件一報毎に慘虐の實相判明、支那人的手段とはいへ人道の外

□北支觀察歸京の板垣參謀長"宋政權は滿足すべき狀態でない"と斷ず

□冀東、冀察、政權獨立の經緯を異にす、北支問題再檢討の秋に直面せざるや

□スペインの革命既に[illegible]になり、革命軍政府今後の經綸を明にす、獨裁國又一つ增す

□[illegible]

絶好の野球日和迎へ 大會昂奮の坩堝化す

球神の恩寵賭けて相闘ゆる强豪

建國野球 第一勝者戰に入る

第一日の大番狂はせ大連實業敗るの報には、四平街の健鬪もさることながら、新進强し、ダークホース恐る可しの聲ファンの間に渦巻き、大會は定石を破つて波瀾萬丈を豫測され人氣は益々揚るわけで第二日は大會唯一の好取組、奉天滿倶對滿洲國、大連滿倶對新京クラブ、最後に一勝者戰として鞍山を輕く退けた電業對安東等充實せるプログラムに日曜のファンの群は早朝から球場に殺到、定刻前早くも人垣を築く、斯くて十一時プレイボールの聲も高らかに奉天滿倶對滿洲國の白熱戰の火蓋は切つて落された

6A—2

奉天滿倶の堅陣に 滿洲國軍失墜す

古豪の實力堂々の戰蹟記す

滿洲國對奉天滿倶戰は午前十一時から鈴木（球）因藤、大月、石田（壘）四氏審判の下に滿洲國の先攻で開始

△スコアー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
奉	3	0	0	0	0	2	0	1	A	6
（先）滿	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2

試合經過

▲一回（滿）横内中飛、佐々木一、二間安打、栗原二匍に佐々木封殺さる（奉）針原三匍、香川四球西尾四球、小島右線寄り三壘打に二者生還、鈴木左飛に小島生還、今市三匍（滿—0奉—3）

▲二回（滿）赤木三振、水原二匍、古岩井投匍（奉）三者凡退（兩軍0）

▲三回（滿）中野遊飛、加藤左飛、高橋一、二間安打に二盗なり横内四球、佐々木左飛（奉）針原三前セーフテイバント成功、香川のバントに一擧三壘を衝き一壘手好投に刺さる西尾投匍（兩軍—0）

▲四回（滿）三者凡退（奉）小島四球、鈴木の二匍は小島と重殺、今市遊匍（兩軍—0）

▲五回（滿）古岩井遊匍、中野一飛、加藤四球、高橋遊匍を二壘高投し加藤、高橋二、三進横内二壘頭上を拔くタイムリヒットに二者生還、佐々木左飛（奉）三者凡退（滿—2奉—0）

▲六回（滿）栗原中前安打、赤木左飛、水原二匍に栗原封殺、古岩井左前テキサス水原二進、中野投匍（奉）針原遊安打、香川内野安打西尾の一前バントに走者二三進、小島三遊間タイムリに針原香川生還、鈴木の遊匍に小島封殺、今市左前安打佐藤左邪飛（滿—0奉—2）

▲七回（滿）（此の回奉天鈴木退き一壘大滿）加藤中前安打、高橋三振、横内投匍に加藤封殺、佐々木四球、栗原二飛（奉）荒木左飛、山崎左越二壘打、針原遊匍香川四球西尾二匍（兩軍—0）

▲八回（滿）三者凡退（奉）小島中越二壘打、大橋投犠今市三振佐藤左前安打、荒木三匍失に小島生還、其の間佐藤二進して壘を離れて刺さる（滿—0奉—1）

▲九回（滿）中野の代打平田内野三振、加藤の代打深瀬フライ、高橋二匍に滿洲國涙を呑む、閉戰一時三十五分

△トータル

分	打	得	安	犠	三	四	失	盗
奉	30	6	9	1	1	4	1	0
（先）滿	33	2	6	0	3	3	1	1

奉	針原	香川	西尾	小島	鈴木	今市	佐藤	荒木	山崎
	7	9	3	1	3	2	5	4	6

（先）滿	横内	佐々木	栗原	赤木	水原	古岩井	中野	加藤	高橋
	4	6	8	3	1	7	2	5	9

八大都市對抗庭球戰

覇決戰の火蓋を切つて花々しく爭ふ

榮冠目指して 白熱戰展開す

新京軍の善戰功を奏せず

滿洲體育聯盟主催、本社後援の第二回八大都市對抗庭球大會は初秋の氣さやかな三十日午前十時から西公園コートにおいて花々しく爭はれた

この日快晴無風、軟式庭球大會としては全く上々のコンデションである、午前九時三十分五大都市（撫順本溪湖奉天は不參加）の期待と榮譽を擔ふ精鋭卅選手の入場式あり昨年の覇者大連チームを先頭に續く各チーム颯爽と白線鮮やかな第一コート上に整列すれば折柄の朝陽若き健兒の白き戰衣に照り映へて早くも烈々の闘志あたりを壓す、一同君ケ代合唱、觀衆の拍手裡に榮への大會優勝盃は大連主將の手から會長韓特別市長に返還續て韓市長の挨拶に對し新京軍中村主將に若き感激こめた口調で「スポーツマンシップに則り我々は正々堂々と戰はん事を誓ふ」と選手宣言をなて最後に岩瀬審判長より試合上の注意あつてこゝに最高の秘術と燃ゆる闘魂こめた熱球戰は再制覇を期す大連軍對優勝候補新京チームの決戰によつて進められたが新京の善戰及ばず大連制覇の幸先を祝ひ次いで吉林對ハルビンの試合に移る午前中の成績次の通り

大連　新京

（工藤 東郷）四—三（日高 谷岡）

（齋藤 楠）二—四（檜垣 藤澤）

（元吉 内倉）四—〇（岸川 中村）

（工藤 東郷）四—〇（檜垣 藤澤）

なほ午後は吉林對ハルビンの對戰がありこの勝者と大連對鞍山の勝者が優勝戰を爭ふこととなる（寫眞は白球交ふ西公園コート）

火災シーズンに備へ 防火演習實施

消防隊で十日頃から連續的に

程なく秋風立そめる頃ともなれば市民は等しく火の氣を戀しがり寒い十月、十一月となれば火災事件が激増するのは例年の恒例となつてゐるのに鑑み不時に備へるため新京滿鐵消防隊では來月十日ごろ羽衣町の滿鐵消費組合で顧客の多數出入する時間に組合と聯合の防火演習を實施する、當日は中にゐる顧客の救出、避難者の誘導その他總てを實際と同樣の方法を採る、なほこれと前後して八島小學校、商業學校その他高層建物を利用して屢々聯合防火演習を實施する

南嶺寛城子の土塊を祀る

南嶺、寛城子兩激戰の直後新京市民有志が圖つて我等の尊き犠牲者の流せる鮮血を原野にさらして足で踏みにじるのは忍びないとあつて血に染んだ土塊を集めたものが曙町四丁目大正寺境内に祭つてあるがこの土塊を中心に來る十九日事變五周年記念日の午後前記有志大正寺、入船町内會等が集つて盛大な慰靈祭を催す

物凄い値上り 白金指輪 姿を消す

【東京國通】今月に入つてからプラチナが鰻上りに物凄い勢で暴騰、まさに白金狂時代を現出してゐる、本月一日まで一匁十七圓臺に落着いてゐた相場が十八、九日頃から急ピッチを以て激騰し廿四日十八圓であつたものが遂日鰻のぼりに上り廿九日には廿九圓となり大正十五年以來十一年振りの新記録を示した、この激しい相場は軍需品としてのプラチナの絶對的な認識と物價の昂騰に依る貨幣價値の下落並に諸外國の輸出制限がその主なる原因で軍事上精密計器にはいやでも莫大なプラチナが必要でプラチナの保存量の多少が戰爭の勝敗に重大な役割を持つてゐるとさへ言はれる、白金協會が愛國々防白金指輪を賣出したのは此趣旨に基いてゐるものだが昨今の樣に日に日に暴騰又暴騰を續けてゐるため賣價の指定に迷つて此處數日折角の指輪も市中から全く姿を消して了つた

北島朝一畫伯の個人展覽會開催

一日から三日間、公會堂で

改組後の文展第二部會員として日本洋畫壇に重きをなす北島朝一畫伯の個人展覽會は本社後援にて九月一日から三日間記念公會堂で開催される、畫伯は東京美術學校創設以來の優秀な成績で學窓を巣立ちて出品毎回帝展入選の天稟は斯界の先輩大家を驚倒せしめ大正九年より十二年まで渡歐獨自の研究に精進をつゞけ滞佛中〃踊り場〃を巴里のサロンに出品し内外畫人を驚嘆させ洋畫の蘊奥を極めて歸朝大正十三年には特選、十五年には帝展無鑑査推薦となり帝展改組後は文展第二部會員として押しも押されもせぬ洋畫壇重鎭の椅子を占めてゐる

今回在滿有志の懇望もだしがたく僅かの暇をぬすんで渡滿國道局原口忠次郎氏宅に足を止め新京を中心に新國家帝國の由緒深き山川風物約五十點を得意のカンバスに收めてゐる、昨年の二科展以來絶へて久しく大家の作に接する機會を得なかつた新京人士には絶好の贈物として早くも到るところに話題を賑はしてゐる【寫眞は北島畫伯】

清水七太郎氏 作品展開催

日本洋畫壇の變り種として常に異色ある作品を發表し名聲をはせてゐる洋畫家清水七太郎氏の作品展覽會は九月一日から三日間毎日午前九時から午後九時まで日滿軍人會館で開催される

同畫伯は大正六年東京美術學校洋畫科を卒業し現畫壇では疾くから至純な畫家として知られており春陽會其他各展覽會に毎回異色ある作品を發表してゐるがその作品は悉く氣品高き純確な詩を物語つてゐる

出陳は畫稿其他約五十點でその幽玄なる作品は一寸比類がない、新京岩手縣人會の後援で藤島武二氏らが賛助されてゐる

新京郵便局 事務取扱時間變更

新京中央郵便局並に市内各局所の郵便事務取扱時間は正午まであつたが九月一日（但し一日は始政記念日）から十月卅一日まで午前八時から午後四時までに變更される、但し土曜日は午後三時迄である

南鮮の水害

昭和九年の大水害を突破

【釜山國通】廿七日夜來豪雨の洗禮を受けた南鮮地方奥地の被害は意外に甚大で釜山以北の交通機關は依然不通のため詳細なる狀況は未だ不明だが逐次到着する情報を綜合するに損害は刻々増大し恐らく昭和九年の大水害をはるかに突破するのではないかと見られて居る、洛東江は尚ほ増水しつゝあり、京釜線洛東江橋も陥落の危險に瀕し、同江氾濫のため三津浪は廿八日拂曉來六千五百戸の中五百戸を忽ちにして水中に没し、現場は阿鼻叫喚の巷と化してゐる、此外慶全南部線咸安驛一帶は水地獄の慘狀を呈してゐる、未だ降雨止まず廿九日朝來送電線故障のため釜山地方は各工場共休止、ラヂオは放送不能となり被害程度は全く豫想も出來ぬ狀態である

正直馬車夫 謝禮を貰つて恐悦

二十九日午後三時ごろ新京城内西三道街花順胡衕居住客馬車夫横延住（四十）は興安大路から康德會館まで乘つた一乘客が客席に朝鮮銀行振出しになる三枚三百五十圓の約束手形、自動車カタログ等在中の赤皮製折鞄が遺留されてあるを發見、早速驛前交番に屆け出たが右遺失品はカタログにより新京監業路百五東洋自動車會社のものと判明、品物は呼出しによりかけつけた遺失主同社品王世福に手渡されたが、さあ謝禮のことゝなるや王はどうしても一圓きり出せないといふのを吉永巡査のとりなしで漸くのことに三圓とはずみ悲喜交々の表情で引き上げたがこれには警官も呆氣にとられた態だつた、なほ馬車夫横は近く組合から表彰される筈

武田所長哈市に出張

滿鐵新京地方事務所長武田胤雄氏は三十日午前九時十分新京驛發京濱線で哈爾濱に出張一日頃歸所の豫定

鮮滿中等野球 準決勝戰

【奉天國通】鮮滿中等學校野球準決勝戰奉天商業對仁川商業試合は奉天先攻で開始十三A對一で仁川勝つ

▲スコアー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
奉商	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
仁川	4	2	7	0	0	0	0	0	A	13A

京城商業對京城師範は十三對八で京城商業勝つ

▲スコアー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
京商	6	0	3	0	0	1	3	0	0	13
京師	0	3	0	0	1	2	0	2	0	8

商工名錄發刊

昨年は休刊をみた商工會議所の新京商工名錄（昭和十一年版）は八月末發送の運びとなつた四、六版約四百六十頁定價一圓五十錢である

あす（卅一日）

▲取引所休業

▲滿洲歩四會申込締切

▲青年學校綜合自治會、午後七時、商業學校

▲文理大對新京劍道、午後三時、商業學校

▲建國記念野球大會第三日、午前十一時、午後一時、午後一時半、同四時の三回、西公園球場

▲秋季第二次競馬第五日

今晩の主なる演藝放送

▲六・三〇日曜特輯ニュース演藝（大阪）▲七・〇〇清元「道行思案餘」（おはん）扇芳亭笑香外▲七・二〇地唄（東京）富崎春昇外▲七・四五ラヂオドラマ「後の月」（東京）市川紅梅外

天氣と氣温

明日の天氣　南の風曇

日の出　前五時〇〇分

日の入　後六時一八分

月の出　後五時一七分

月の入　前三時一〇分

けふの氣温　最高二七度六　最低一三度九

滿洲歩四會主催 奉納武道試合

寛城子戰蹟記念碑除幕式兼ねて

滿洲歩四會主催寛城子戰蹟記念碑除幕式並に慰靈祭奉納武道試合は九月十九日記念碑前廣場に於て擧行されるが當日は午前十時除幕式並に慰靈祭を執行ついで十一時より本社後援にて奉納武道試合を開始劍道、柔道、相撲、銃劍術等各廿組づつ出場し勇士の碑前に龍攘虎搏の肉彈戰を演じ靈魂を慰める筈である

第三回日滿社會事業大會開催

九月十日より三日間軍人會館で

滿洲國中央社會事業聯合會と滿洲社會事業協會の共同主催に係る第三回日滿社會事業大會は關東軍司令部、駐滿日本大使館、關東局、滿鐵、總務廳、民政部、蒙政部、文教部外交部、協和會等の後援の下に九月十、十一、十二の三日間に亘り日滿軍人會館で開催日本内地並朝鮮百五十名、關東州、滿鐵沿線附屬地、鐵路總局沿線百名滿洲國百五十名計四百名の參加ある筈である

第一日（九月十日）は開會式並に總會

第二日（九月十一日）は審議委員會を開き

一、日滿社會事業連絡に關する議案

二、風敎問題に關する議案

三、醫療救護に關する議案

四、失業對策其他に關する議案

等に就ての審議を行ひ第三日（九月十二日）は審議報告並に大會決議の可決つて會を閉ぢる豫定である

尚大會出席者に對し旅客運賃を左の通り割引す

▲社線各驛より新京往復九月九日から十日まで

▲國線各驛から新京往復七日から十日まで

▲局線各驛から安東經由新京驛往復一日から十日まで

▲省線及商船大連航路各驛より釜山安東又は大連經由新京驛行往復二、三等五割引大阪商船航路三割引

東京文理對新京武道會 對抗試合

管原教士引率の東京文理科大學大塚學友會劍道部對新京武道會の試合は三十一日午後三時から商業學校に於て開催されるが新京の選士は左の如くである

大將竹内（四段）副將佐藤（四段）森同岡本（同）宇野（同）中村（三段）伊藤（同）縣（同）野崎（同）太田（同）宮崎（同）西田（同）菅野（二段）松浦（同）西田（同）補欠佐々木（三段）奥野（同）平野（二段）新村（初）桑（同）嶽崎（同）

あすの番組

卅一日（月曜日）（M・T・O・Y 新京放送局）

◇朝◇
六・〇〇 建國體操 六・二〇 ラヂオ體操（東京）六・四〇 初等滿洲語講座（大連）七・〇〇 初等日本語講座（奉天）七・二〇 朝の音樂（大連）引續き 氣象通報（大連）八・三〇 經濟市況（東京）九・〇〇 早晨演奏九・二〇 料理獻立（奉天）九・四〇 經濟市況（大連）一〇・〇〇 家庭講座「狂犬病の豫防に就て」關東局技手久米定一 一〇・二五 家庭メモ 一〇・三五 經濟市況（大連）一〇・四〇 經濟市況（東京）一〇・五九 時報（東京）

◇晝◇
一一・〇〇 野球試合實況―新京西公園野球場より中繼―建國記念大滿洲帝國野球大會（雨天順延）一・四〇 ニュース（東京、新京）〇・〇一 經濟市況（大連、新京）一・二〇 ニュース（滿語）二・〇〇 經濟 市況（大連）二・五〇 ニュース（東京）三・三〇 經濟市況（大連）引續き 競馬實況（滿語）―新京賽馬場より中繼―五・二五 氣象通報、番組豫告

◇夜◇
六・〇〇 ニュース（東京）六・二〇 今晩の番組、官廳公示 六・二五 政府公報（滿語）六・三〇 國民の時間（哈爾濱）
七・〇〇 管絃樂（東京）
日本放送交響樂團
指揮 篠原正雄
動物の謝肉祭
サンサーンス作曲
序奏と獅子王の行進曲

七・三〇 琵琶 橘中佐 橘旭殿作詞、橘旭翁作曲 池川旭蓉（長崎）
七・五五 俗曲 我がもの外 市丸 唄、香 三味線 才
八・一〇 假面舞踊と獅子舞―朝鮮黄海道沙里院より中繼―
八・三〇 時報、ニュース（東京）引續き ニュース八・四五 ニュース、經濟市況、氣象通報、番組豫告（滿語）九・〇〇 舊劇「烏盆計」（哈爾濱）、哈爾濱郵政俱樂部票友 一〇・〇〇 北滿の時間（哈爾濱）

ラヂオの御用は 東京無線

野球休止の場合は左を追加
〇・二〇 壹の演藝（レコード）
〇・四〇 建國體操
一・〇〇 白天演藝
一・三〇 滿洲演藝
一・五〇 下午演奏
二・〇〇 日用品値段（滿語）
四・三〇 ニュース・演藝（鮮語）
四・五〇 ニュース（英語）
五・〇〇 子供の時間（東京）
合唱 故郷の空 アプト作曲 藤田健治作曲 外六曲 JOAK唱歌隊
伴奏 東京サロンオーケストラ
指揮 吉原規
五・二〇 コドモの新聞（東京）關屋五十二

サンサーンス曲の〝動物の謝肉祭〟 篠原正雄氏指揮で日響演奏

後七時 東京

（1）序奏と獅子王の行進曲（2）雌鳥と雄鳥（3）驢馬（4）龜（5）象（6）カンガルー（7）水族館（8）長い耳の假裝人物（9）森の郭公（10）鳥（11）ピアニスト（12）化石（13）白鳥（14）終曲

「動物の謝肉祭」は標題音樂の大家サンサーンスが戯作的氣分で作つた名曲で「動物園の大幻想曲」といはれ、大人も子供も共に樂しめる傑作である。

◇……◇

この曲は一八八六年二月、謝肉祭の最後の日に發表された。當初から、祭日の華やかな音樂會に、しかも聽衆を驚かさうと作曲されたものだけにいろいろの動物の描寫に事よせながら、賑やかな祭りの莫迦騷ぎを存分に表現し、これを更に效果的にするために聽衆がよく知つてゐる旋律を縱横にもぢつて用ひてゐる。引用された主なものを擧げると

オッフェンバッハ作曲「天國と地獄」のオルフォイスの旋律（龜）ベルリオーズ作曲「ファウストの劫罰」中の「妖精のワルツ」（象）メンデルスゾーン作曲「眞夏の夜の夢」の「スケルツオ」（象）サンサーンス作曲「死の舞踏」（化石）有名なフランス民謠三曲（化石）他。

そして、十三の「白鳥」迄はそれぞれ標題の示すものを諧肉祭の情調の中に浮び上らせ終曲で凡ての動物を皆登場させ、お祭り氣分をクライマックスに引き上げ、最後に鋭い手段でこの「動物園大幻想曲」を花火のやうにパッと飛び散らしてしまふ。

未曾有の豪華「大地の愛」 目下帝都キネマで上映

新秋の第一陣今期の映畫界を飾つて堂々二十九日より封切られた新興の超特作「大地の愛」は大泉撮影所開設一周年記念映畫であると共に從來の日本映畫の水準を高め大新興映畫の面目を一新する一大記念事業とも云へる製作品である製作のスタッフは勿論キャスト等は愼重を加へ新興全スターを動員する他高田プロ、阪妻、京都太秦、松竹少女歌劇等より參加を得て、篇中の主題歌シンクロにはポリドールの專屬歌手連が總揃ひで應援出演してゐる他、其の構想の雄大スケールの豪壯さは正に各社の作品を斷然壓倒し得る豪華篇であると云へやう（航空十三時間と同時上映中）寫眞は大地の愛の一場面、立松晃の片山と山路ふみ子の富勇

映画 〝踊る名君〟 ―松竹京都―

◇…一城一國の名君が故意に狂人の風を裝ふて、お家横領をたくらむ奸臣輩を全滅させるまでの話であるが、以前やはり林長二郎の主演で「狂へる名君」といふのがあつて非常に受けたといふから企劃としては「狂へる名君」の好績をそのまゝトーキーに置き換へただけの小細工、又ストオリイそのものも既に今日では陳腐のそしりを免れぬ。

◇…長二郎の名君は劍術の稽古中竹刀で頭を打たれて氣が變になるが、實はこれが奸臣輩を胡魔化すための手なのである 果して肝臣須見賜太夫一味がのり出し忠臣は追はれ心ある家臣は勿論、一般庶民まで須見を憎むの聲が高い、あまつさへ姫君まで毒殺されて了ふかゝる紛擾の渦中にあつて明君は色々と狂態を演ずるのであるが、この脚本では一對何故に狂つてゐなければならないかが說明されてない、時々正氣に返つて「狂人の眞似をしてゐなければ身が危い」と言つた意味のことを言ふが、言ふだけでは納得出來ない、何故に危いかを脚本の上で具體的に說明して貰はねばならないと思ふ。

◇…明君が勝氣な妹の雲姫に向つて「そなたとわしが變つてゐたらよかつた」と言ふところがある、明君を英雄視せずに人間的に見やうとした着想を面白いと思つたが、遂に着想だけに止つてゐたのは殘念であつた此處のあたりが基調となつて脚本が組立られてあつたら上述の如き說明不足も「人間的な弱さ」が說明してくれるであらうし、もつと面白いものが出來上つてゐたのではないかと思ふのである。

◇…一體に出來は前半が良く後半が惡い。重三郎と近所の娘との交涉、勤王の浪士の出現、周馬のス頓狂な存在など枝葉が多いが何れも中途半端にしか描かれてなく殊に重三郎と娘の交涉など意味あり氣であるが結局どうにもなつてゐないし、最後の浪士百姓等の扱ひにも隨分と無理が行はれてゐる、演出の上にも見るべきものを示してゐない。

◇…役々では長二郎に次いで北見禮子が惡くはない、飯塚敏子は普通の出來、高田浩吉、小笠章二郎は余り冴えた出來ではなかつた、坪井哲の惡役は無難である。俗受けのする寫直ではあるが井上金太郎作品としては決して優れたものではない長春座上映中（N生）

池川旭蓉さんの琵琶「橘中佐」

後七・三〇 長崎より 作詞…橘旭殿、作曲…橘旭翁

夫れ義は泰山よりも重く、死は鴻毛よりも輕しとかや、實に勇將の決戰は、今尚偲ぶも勇ましく、頃は明治甲辰の秋八月三十一日の未明、大島師團の一驍將兒玉陸軍少將は、昨日の戰ひ意の如くならざりしかば、石原谷の兩聯隊を遼陽城の要害たる、首山堡の堅壘に、激しく夜襲せしめたり。これが先手の大隊を、率ゐる人はそも誰ぞ、曾て東宮御附武官として、其の名も高き陸軍の歩兵中佐橘周太、初夜の村雨名殘なく、霽れて雲間を洩る月は、四邊隈なく輝けり。夜襲に適せぬ空なれど、躊躇すべきにあらざれば、野邊の草葉の露にだに、心おきつゝ戒めて、斷崖絶壁よぢ登り、不意の夜襲と喚いて突掛る、敵兵は、狼狽ながらも頑強に、命と頼む塹壕を固く守りて抵抗す、橘中佐は微笑み「アナものものしの醜草と」、敵名二三をなき倒し血刀振ひ魔けば日本丈夫一齊に、我れ劣らじと奮戰す、さしも堅固の敵壘も、我手に歸して日の御旗、高くひらめき萬歳の、聲は山河を震動せり、敵は無念に堪へざりけん、新手を代へて鋭くも、再び我を逆襲せり、天か命か將た時か、飛びくる敵の彈丸は、中佐の左手を貫けり、それと認めし軍曹内田清一は、中佐の傍に馳け來りて、大隊長殿今こそは、大事の場合希くば、一時手當を受けられよと、切りに勸めたりしかど、中佐は神色自若として、元より打つも打たるゝも、是れ戰場の慣はしなり、さはさりながら斯迄に、部下の勇士を殪されて、我のみ何條退かるべき、……

「蒙古襲來！」 日活で映畫化

日活では今度非常時にふさはしい超スペクタクル映畫として元寇の役の大海戰を中心にした『蒙古襲來！』を映畫化する、時あたかも歷史映畫擡頭の時でもあり、またこの重大なる歷史的事實の再認識は非常時日本に有意義なものであるとして一擧に實現を決定したもので日活では全く歷史的眞實のまゝ描く意圖の下に早くも各種の資料蒐集に着手した、勿論東西兩スタヂオ總動員で製作されるもので監督には山中貞雄、稻垣浩が候補に上つて居り、製作費としては約五十萬圓を計上してゐる

秋季第二次競馬 第三日成績

▲第一競馬（二、〇〇〇米、六頭）1惠長（二分五四秒二）2第二飛龍、3幸成、配當−單七圓七〇、複1五圓三〇、2六圓七〇、ガラ1八四圓四〇、2二一圓一〇、等外六圓六〇

▲第二競馬（二、二〇〇米、四頭）1駿玉（三分五秒二）2信貫、3新京北海、配當−單七圓六〇、ガラ1九三圓八〇、等外七圓八〇

▲第三競馬（三頭、二、二〇〇米）1新蘭風（三分〇二秒五分一）2林東、3新長、配當−單九圓九〇、ガラ一〇六圓六〇等外一三圓三〇

▲第四競馬（三頭、二、〇〇〇米）1瑞陽（二分四九秒一）2盤龍、3九千部山、配當−單五圓二〇、ガラ1一七〇圓六〇、等外二一圓三〇

▲第五競馬（四頭、二、〇〇〇米）1兼光（二分四四秒〇）2新京如龍、3阿爾山、配當−單四〇圓ガラ1一七二圓八〇、等外一四圓四〇

▲第六競馬（四頭、一、八〇〇米）1秋風（二分二六秒三）2公武、3大江戸、配當−單一〇圓八〇、ガラ1二一五圓四〇、等外一七圓九〇

▲第七競馬（五頭、一、八〇〇米）1第二三友（二分二八秒四）2八千代、3麗、配當−單一六圓一〇、複1七圓六〇、2七圓六〇、ガラ1三〇二圓、2七五圓五〇、等外三一圓四〇

▲第八競馬（七頭、二、〇〇〇米）1三峰（二分四五秒〇）2譽、3待月、配當−單一七圓八〇、複1九圓一〇、2八圓八〇、ラガ1三五三圓二〇、2八八圓三〇、等外二二圓

▲第九競馬（四頭、一、八〇〇米）1金勇（二分一六秒二）2英貴、3奉天靑雲、配當−單七圓六〇、ガラ1三三〇圓六〇、等外二七圓五〇

▲第十競馬（七頭、一、八〇〇米）1東洋亞細亞（二分三一秒）2英新、2開勝、配當−單六圓四〇、複1五圓八〇、2一〇圓九〇、ガラ1四六五圓九〇、2一一六圓四〇、等外二九圓一〇

▲第十一競馬（五頭、二、〇〇〇米）1北龍（二分五〇秒三）2晴流、3若杉、配當−單一二圓二〇複1六圓八〇、2一二圓二〇、ガラ1四五五圓、2一一三圓九〇等外四七圓四〇

▲第十二競馬（六頭、一、八〇〇米）1藤生（二分三六秒一）2開明、3公譽、配當−單三〇圓三〇、複1一三圓六〇、2一一圓八〇、ガラ1四〇〇圓四〇、2一〇一圓一〇〇等外三一圓六〇

▲第十三競馬（四頭、一、八〇〇米）1菊勇（二分三八秒四）2快々、3精養軒、配當−單七圓三〇、ガラ1三一三圓六〇、等外二六圓一〇

月曜 八月卅一日 乙酉 七月十五日 先負 除 危宿

●一白の人 衆望を失はぬ様注意すれば安全を保つべし 丙と丁と戌が吉
●二黒の人 内外の援助多大なる日婚姻金談縣合事に吉 甲と巳と壬が吉
●三碧の人 頑固を和らげ他の引立を受けて利益ある日 丙と丁と辛が吉
●四綠の人 運氣至極良好にて自信ある處を決行すべし 丁と戌と乾が吉
●五黄の人 他の言を尊重して氣儘を行はざれば平なり 乙と任と癸が吉
●六白の人 或程度迄の展開を見れど行詰りを生じ易し 乙と未と壬が吉
●七赤の人 努力を費す程には仕事の成績思はしからず 乙と巳と壬が吉
●八白の人 多少の動揺は免れざるも順調に進展すべし 甲と乙と巳が吉
●九紫の人 燃る如き熱誠を以て進めば諸事通達すべし 丁と庚と丑が吉